

科目名称	認知症の作業療法
授業コード	AE322
英語名称	Occupational Therapy Theory for Dementia
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	小橋 一雄
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	認知症に関する、臨床像とこれからの作業療法のあるべき役割について深めます。標準化されたテストバッテリーや認知症の映画等を通して、認知症当事者の思いや関わる人の思いについて考え、総合的な支援法及び作業療法士の役割を学びます。認知症それを取り巻く関係者の思いを理解し、認知症をに対する作業療法の修得を目的とします。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当教員は、認知症、脳卒中、神経難病などの患者を対象に臨床経験を積み、日々作業療法を研鑽する作業療法士によって担当される。この講義では日常生活に影響を及ぼす、認知症の特徴に対する、評価及び治療体験を活かして講義を行う
到達目標	<p>本科目はカリキュラムポリシーに掲げる「基礎作業療法学や評価学、治療学、管理学などから、作業療法の実践を学ぶ科目【専門科目】」に該当し、以下の3つを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症について説明出来る 2) 認知症の評価が出来る 3) 認知症の作業療法の役割について説明できる <p>この授業を通して、認知症当事者や関係する家族の苦悩を知ることで、クライアントの抱える問題に共感し、クライアント中心の援助を考えることができるようになる。また、医療専門職及び研究者倫理に関する規範意識として、専門職の行動規範、遵守すべきことなど理解した上で取り組むことができる</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 1回目 オリエンテーション 認知症とは（小橋：作業療法士） 2) 映画で読み解く認知症1（小橋：作業療法士） 3) 映画で読み解く認知症2（小橋：作業療法士） 4) 認知症の方の思いに耳を傾ける（小橋：作業療法士） 5) 認知症に用いられる検査（小橋：作業療法士） 6) 認知症の絵本を読んでみよう（小橋：作業療法士） 7) 絵本を作ってみよう（小橋：作業療法士） 8) これからの認知症に対する作業療法を考える（小橋：作業療法士） <p>担当教員は、認知症、脳卒中、神経難病などの患者を対象に臨床経験を積み、日々作業療法を研鑽する作業療法士によって担当される。この講義では日常生活に影響を及ぼす、認知症の特徴に対する、評価及び治療体験を活かして講義を行う</p>
授業の進め方	スライド、ビデオ、配布資料、教科書を使用し教授します。 認知症の病態・評価・臨床での関わりを、映画や資料を基に講義を進めます。
能動的な学びの実施	授業は、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを用いて、アクティブラーニング形式で、課題解決の方法を身につけていく。 授業の最初には、前回の確認テストを実施し、授業ごとの振り返りが出来るようにする。

能動的な学びの実施	
授業時間外の学修	予習及び復習を含め、合計 30時間程度 の学外学習を行ってください 学習は、老年期の作業療法の教科書、参考図書も含め、あらかじめ読む、インターネットなどで検索して学習をしてください。
教科書・参考書	教科書：指定しない 参考書：宮口英樹 監修；認知症を持つ人への作業療法アプローチ メジカルビュー 4300円：2019 小川 敬之 (編集), 竹田 徳則 (編集)認知症の作業療法第2版ソーシャルインクルージョンをめざして 5170円：2016
成績評価方法と基準	成績は、授業内でのレポート100%（題意把握・内容理解、論理構成・考察力、表現・文字の正確さ、引用・出典明示、現実との関連づけによって判定する）
課題等に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは、小テストの解説の際に全体に向けて行います。 必要に応じて、個別に行います。
オフィスアワー	CampusSquare を参照
留意事項	授業への参加態度が学習の大きなポイントになります。授業時間内や課外での積極的な取り組みを期待します。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面授業となった場合には、オンライン会議システムを用いて行う。資料及び教科書は事前に配布し、それに沿って講義を行う。なお、講義の最後には、小テストをgoogleフォームを用いて行う。 成績は、授業内でのレポート100%